

第2回検討委員会における委員意見等

1. 拠点体育館に求められる機能等に対する主な意見

- ・ 剣道の試合場がメインアリーナで8パート取れるので十分。サブアリーナで6パート取れるのも良い。
- ・ 剣道は床が重要な問題で、球技の床と剣道仕様の床は本質的に違う。愛媛県の武道館のように、剣道大会のときに床が切り替わる設備ができれば良い。
- ・ 剣道の床は、合板等ではなく、無垢の床が一番適当。スプリングを入れて、塗装をしていない床が、一番安全性があり長持ちする。
- ・ 大会の時には、サブアリーナで準備体操をすることがある。また、トイレ、シャワー室、ロッカー等の設備も必要。
- ・ バレーボールは、市民体育館はメイン3面、サブ1面で使いづらい。両方あわせて最低でも5面は作って欲しい。
- ・ 北九州総合体育館では、同じ規模でメイン4面、サブ2面取れている。
- ・ 空手は、国際大会のような大規模な大会になると面数は2面程度で良いが、サブアリーナは計量やドーピング検査などを行うために絶対に必要だ。
- ・ サブアリーナの固定観客席が500席となっているが、九電記念体育館のメインアリーナと大きさは変わらないので、増席した方が使用頻度、使い勝手が上がる。
- ・ ステージがあった方がすごく使い勝手が良くなる。中体連の総合開会式などで使う。
- ・ 市民体育館のように可動式のステージがあると良い。
- ・ ステージは本部席や役員席として使用するし、表彰式にも使う。
- ・ 横断幕の取り付け等の揚げ降ろしができるバトンが必要。
- ・ ステージは障がい者の方が利用する場合などの観覧席としても利用できる。
- ・ アクシオンは会議室もたくさんあるし、福岡市のスポーツ拠点としてアクシオンのような施設があると良い。
- ・ 駐車場については、2,000人までで、97.7%をカバーするようになっているが前提として手狭な体育館だからこうなっている。これから3,000人以上とかに増えてくると500台では少ない。
- ・ 駐車場を他の施設と兼用するようなことはしないで欲しい。
- ・ 全国大会規模になると、バスで移動するため、相当数のバスの駐車場も考えなければいけない。
- ・ 普段は空いていて、イベントのときだけ満車となるようではスペースが無駄である。全面アスファルトではなく、芝を張ったりして、駐車場としても使えて、広場としても活用できるような、環境にもやさしい駐車場を考えて欲しい。
- ・ 駐車場の周りにランニングコースがあってもよいのでは。
- ・ 体育館の周りにジョギングコースやサイクリングコースを設けることができれば良い。そうすれば、全国中学校駅伝大会の誘致ができる。
- ・ 駐車場で料金を取っているところもある。金額的には1日300円ぐらいだが、管理が出来さえすれば問題ない金額だと思う。

2. 拠点体育館の整備地として望ましい環境

- 二つの場所を検討した場合、地理的なことを考えれば九大跡地だが、整備が先の事になる。今からの運動とか環境のことを考えたら、広くて緑の多いアイランドシティで考えたほうが良い。
- 障がい者の場合は、車を一人一台で利用する人が多いので、一番の交通アクセスとしては、駐車場がどのくらい確保されるかである。
- 知的障がい者の人達が集団で来る場合、近くのバス停や電車を利用するので、公共交通機関ができるだけ整備されるのであれば、アイランドシティの方が環境的に良い。
- 今後は、九大跡地等の検討は、無しにしてもいいのではないか。アイランドシティに絞り込むことで進展すると思う。
- 今までの議論は、体育館の機能としては体育館内側へのサービス提供の場であったが、体育館の周辺のスポーツ環境に対して提供できる、ジョギングやウォーキングをしている人達が着替えられるスペースやシャワースペースというものを含めた形で検討していく。体育館であるが、スポーツの拠点であるというような機能を追加することを提案したい。
- 遠方から来る場合は、車を使うので都市高速が使えるとすごく便利だし、皆にも声をかけやすい。
- 高速道路から都市高速に乗って、降りたら体育館というのは非常に良いと思う。